

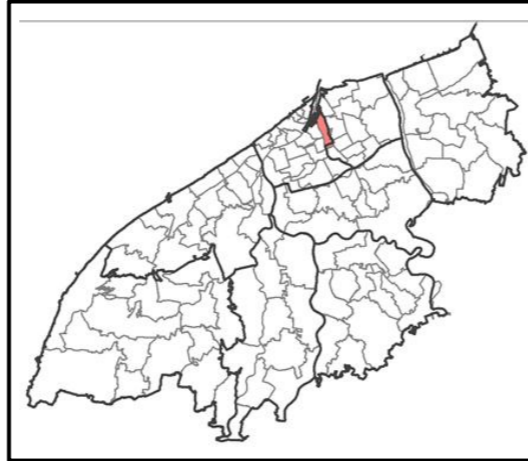
沼垂小学校区

様式1 人口、建物、避難所等の施設、災害危険性の評価

●住所名称

鏡が岡		
紫竹1~4丁目		
西馬越		
沼垂東1~6丁目		
日の出1~3丁目		
本馬越		
本馬越1・2丁目		
山木戸1丁目		
竜が島1・2丁目		

●位置図



●施設・団体

市役所・区役所等	—
警察・消防	西港警備派出所／東消防署本署
消防団	中央方面隊 沼垂分団
水防倉庫	—
一時避難場所	日の出公園
広域避難場所	—
主な用要施設配設慮者	幼稚園・保育園 沼垂幼稚園／沼垂保育園、子安保育園、馬越子安保育園 高齢者福祉施設 さわやか日の出館、さわやかリバーサイド栗の木 障がい者福祉施設 つくし工房

●人口

項目	総人口	地区の割合	市の割合
0～4歳	405人	3.8%	4.0%
5～14歳	729人	6.8%	8.5%
15～74歳	7,917人	74.4%	74.6%
75歳～	1,597人	15.0%	12.9%
65歳以上人口	2,966人	27.9%	26.0%
世帯数	5,103世帯		
一世帯あたり人口	2.1人／世帯		2.5人／世帯
人口密度	4,153人／km ²		1,108人／km ²
昼間人口	10,116人	夜間の95.0%	

●建物関連指標

項目	総棟数	地区の割合	市の割合
木造	S55年以前建築	2,174棟	47.0%
	S56年以降建築	1,727棟	37.4%
	計	3,902棟	84.4%
非木造	S55年以前建築	352棟	7.6%
	S56年以降建築	370棟	8.0%
	計	723棟	15.6%
S56年以降建築物	2,097棟	45.4%	52.4%

S55年以前: 主に旧耐震 S56年以降: 主に新耐震
※集計時に端数処理をしたため、合計値があわないことがあります。

●地区内の避難所・津波避難ビルなど

施設名 [ヒ]:避難所、[ツ]:津波避難ビル・場所	標高 (m)	階数	避難可否			
			地震	津波	洪水	土砂災害
[ヒ][ツ]沼垂小学校	1.3	3	○	3階以上	2階以上	—
[ヒ][ツ]東新潟中学校	0.4	4	○	3階以上	2階以上	—
[ヒ][ツ]明鏡高等学校	1.1	4	○	3階以上	2階以上	—
[ヒ][ツ]万代高等学校	1.0	6	○	3階以上	2階以上	—
[ツ]朝日プラザ栗の木	0.7	6	—	3階以上	—	—

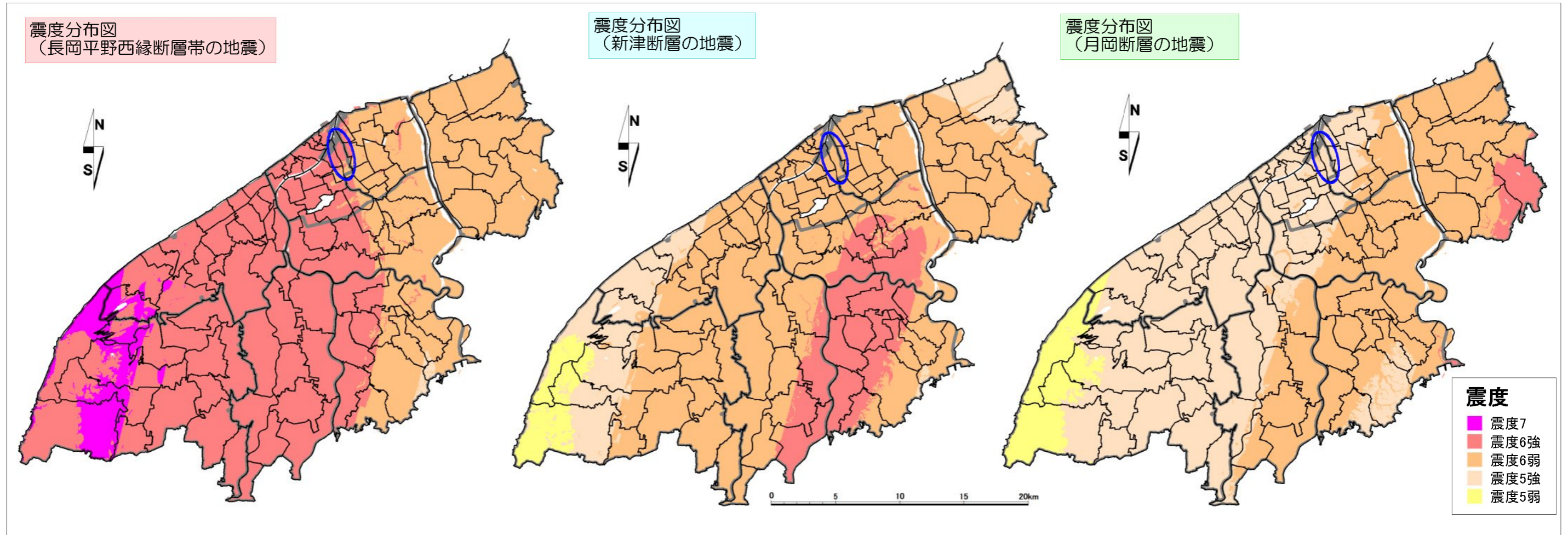
●地区外の避難所・津波避難ビルなど

施設名 [ヒ]:避難所、[ツ]:津波避難ビル・場所	標高 (m)	階数	避難可否			
			地震	津波	洪水	土砂災害
[ヒ][ツ]日和山小学校	0.3	5	○	3階以上	全階可	—
[ヒ][ツ]北部総合コミュニティセンター	-0.5	4	○	3階以上	全階可	—
[ヒ][ツ]万代長嶺小学校	0.5	5	○	3階以上	2階以上	—
[ヒ][ツ]宮浦中学校	0.7	4	○	3階以上	2階以上	—
[ヒ][ツ]万代市民会館	-0.3	6	○	3階以上	2階以上	—
[ヒ][ツ]笹口小学校	-0.1	4	○	3階以上	2階以上	—
[ヒ][ツ]木戸小学校	0.5	4	○	3階以上	2階以上	—
[ヒ]木戸コミュニティセンター	1.3	2	○	—	2階以上	—
[ヒ][ツ]山の下小学校	2.1	4	○	3階以上	全階可	—
[ヒ][ツ]山の下中学校	-0.4	4	○	3階以上	全階可	—
[ツ]窪田町住宅	4.3	5	—	3階以上	—	—
[ツ]スーパーホテル新潟	0.0		—	3階以上	—	—
[ツ]ドリーイン新潟	-0.1		—	3階以上	—	—
[ツ]明石住宅	0.1	10	—	4階以上	—	—
[ツ]中央図書館	0.7	3	—	3階以上	—	—
[ツ]新潟日報メディアシップ	0.6	20	—	2階、4階	—	—
[ツ]ANAクラウンプラザホテル新潟	0.4		—	3階	—	—
[ツ]ベルトピア新潟Ⅲ	0.6	6	—	3階以上	—	—
[ツ]アトール長嶺町	0.6	12	—	3階以上	—	—
[ツ]万代島ビル(ホテル日航新潟)	3.1		—	2階～4階	—	—
[ツ]山の下まちづくりセンター (旧東区役所)	0.1		—	3階以上	—	○
[ツ]東地区総合庁舎	0.5	5	—	3階以上	—	—

避難の可否(災害ごとに表記): 開設する施設を「○」、避難可能な階数を「○」、開設しない施設を「—」、避難に適さない施設を「×」

●災害危険性の評価

地震・津波	地区の大部分が軟らかい地盤の上に分布するため、大きい地震の時には、強い揺れや液状化の可能性がある。 津波による浸水は、地区全域で想定されている。
水害・土砂	阿賀野川の洪水、信濃川下流の洪水及び通船川流域の洪水によって、浸水の可能性がある。特に、信濃川下流の洪水では、地区の全域で浸水の可能性がある。



	長岡平野 西縁断層帯	新津断層	月岡断層
地震の規模: モーメント マグニチュード	7.46 (気象庁マグニチュード 7.9に相当)	6.45 (気象庁マグニチュード 6.7に相当)	6.76 (気象庁マグニチュード 7.1に相当)
(参考※)	平均活動間隔 約 1,200 年~3,700 年 断層の活動性 3m/千年程度	明確な活動性は明らか になっていない。 月岡断層より、活動性 は低いと考えられる。	平均活動間隔 7,500 年以上 断層の活動性 0.4m/千年程度

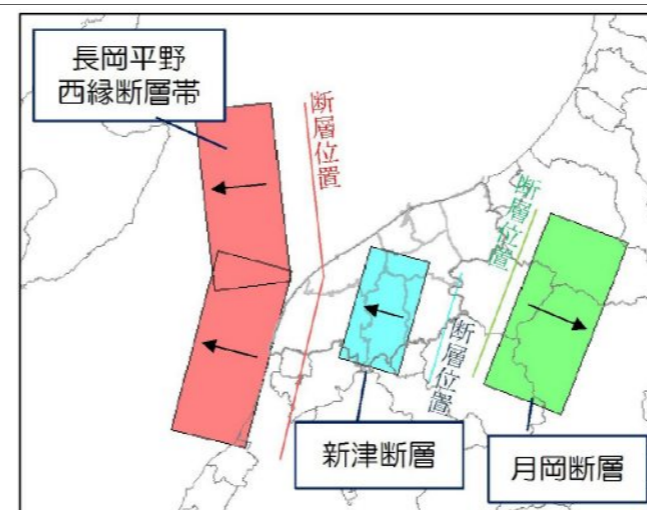
※(参考) 国の地震調査研究推進本部の活断層帯の長期評価(算定基準日:平成 27 年 1 月 1 日)及び東京大学地震研究所 佐藤比呂志教授の助言を参考として記載しています。

【地震発生確率について(地震調査研究推進本部資料より)】

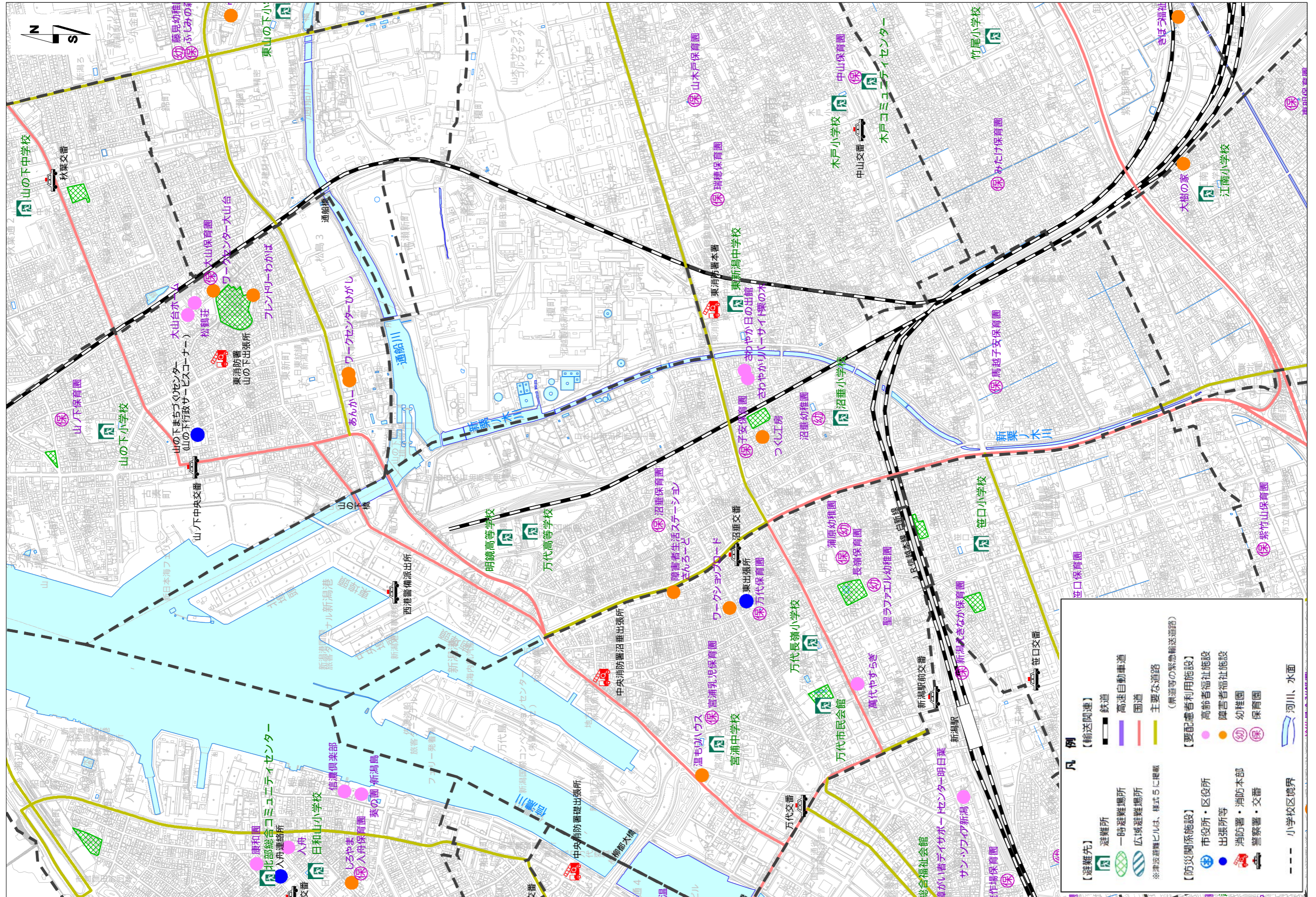
過去の地震活動の時期や発生間隔は、幅を持って推定せざるを得ない場合が多いため、地震発生確率は不確定さを含んでいます。また、新たな知見が得られた場合には、地震発生確率は変わることがあります。

<<モーメントマグニチュードと気象庁マグニチュード>>

モーメントマグニチュードは、地震で岩盤が動いた面積等をもとに計算するため、計測に時間を要しますが、エネルギーの規模を正確に測定することができます。これに対して、気象庁マグニチュードは、地震計で計測される波の振幅から計算しており、迅速に発表することができます。



← は、断層の傾きを示しています。



【出典】 基礎の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)



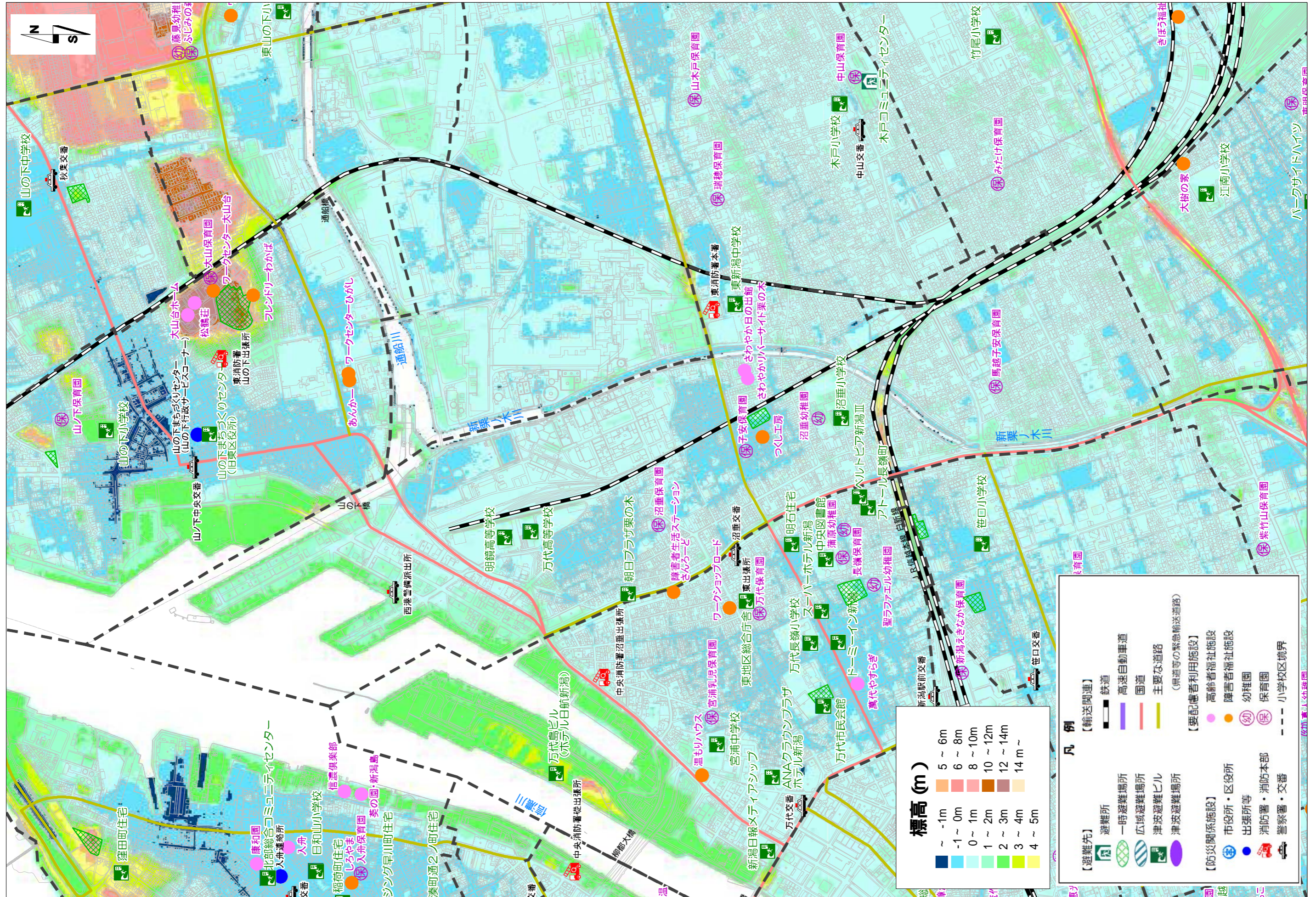


〔出典〕 航空写真(平成26年4月)



様式5 標高分布図

沼垂小学校区



[出典] 基礎の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年) 5mメッシュDEM (国土地理院, 平成25年)



凡例

【避難先】
 避難所
 一時避難場所
 広域避難場所
 津波避難ビル
 津波避難場所

【防災関係施設】
 市役所・区役所
 出張所等
 消防署・消防本部
 警察署・交番

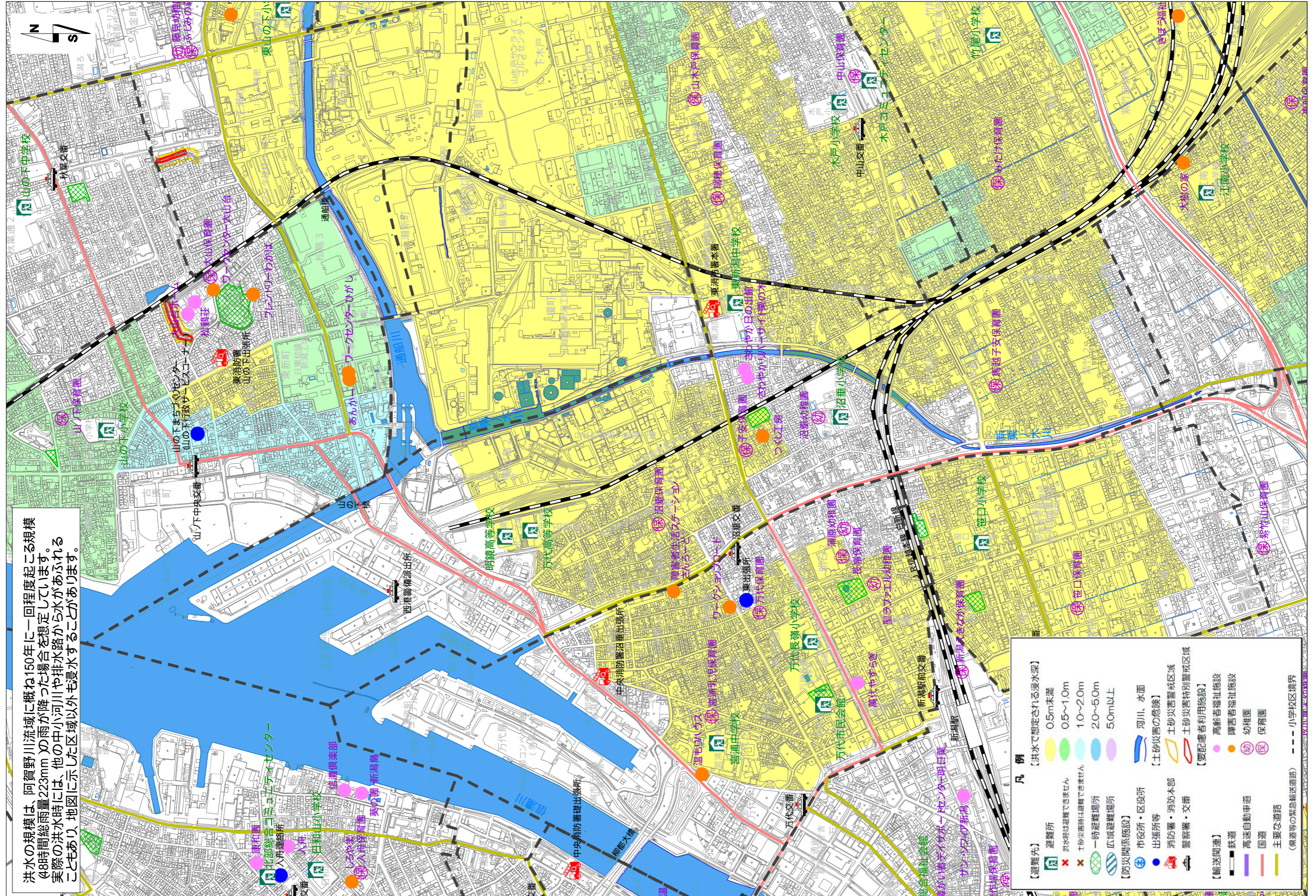
【輸送関連】
 鉄道
 高速自動車道
 国道
 主要な道路
 (県道等の緊急輸送道路)

【要配慮者利用施設】
 高齢者福祉施設
 障害者福祉施設
 幼稚園
 保育園
 小学校区境界

標高 (m)
 ~ -1m
 -1 ~ 0m
 0 ~ 1m
 1 ~ 2m
 2 ~ 3m
 3 ~ 4m
 4 ~ 5m
 5 ~ 6m
 6 ~ 8m
 8 ~ 10m
 10 ~ 12m
 12 ~ 14m
 14 m ~

様式6-1 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（阿賀野川）

沼垂小学校区



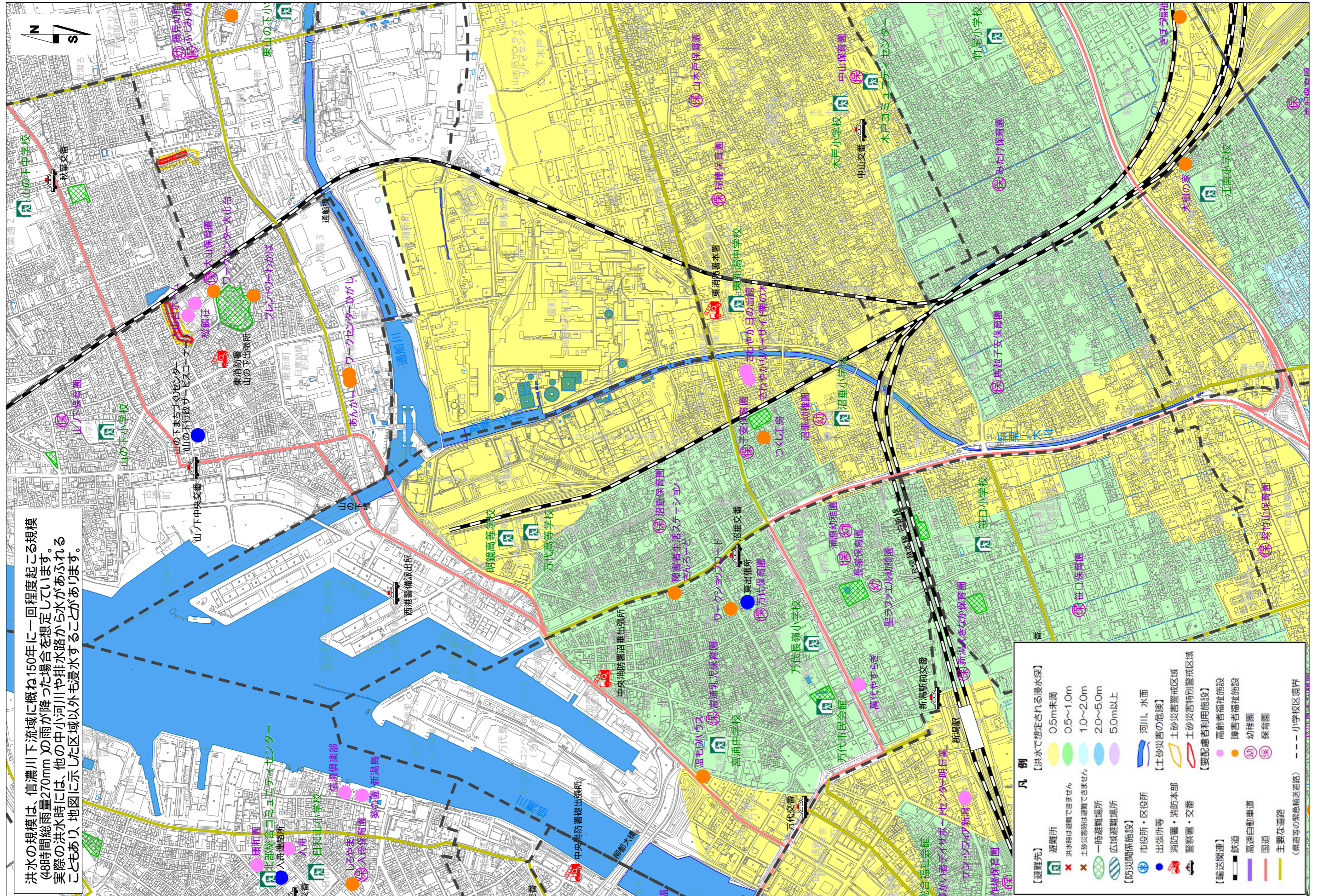
洪水の規模は、阿賀野川流域に概ね150年に一回程度起こる規模（48時間総雨量223mm）の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

〔出典〕 基礎の地図 新潟市国土基本図（平成20年，平成25年，平成26年）
阿賀野川浸水想定区域（国土交通省，平成14年1月31日）



様式6-2 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（信濃川下流）

沼垂小学校区



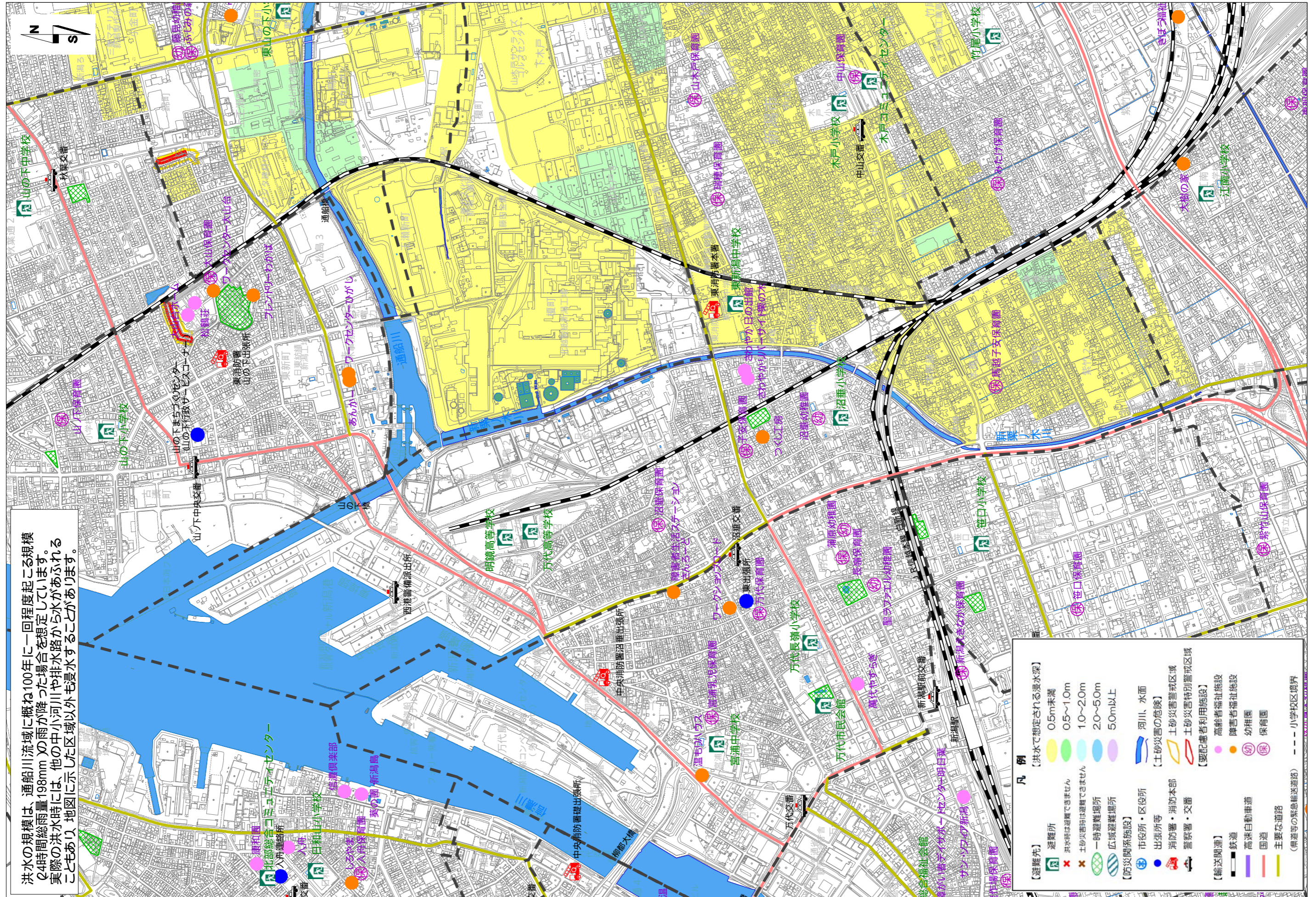
洪水の規模は、信濃川下流域に概ね150年に一回程度起こる規模(48時間総雨量270mm)の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外にも浸水することがあります。

【出典】 基礎の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)
 信濃川下流浸水想定区域(国土交通省,平成14年4月30日)



様式6-3 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（通船川・栗ノ木川下流（新栗ノ木川））

沼垂小学校区



洪水の規模は、通船川流域に概ね100年に一回程度起こる規模（24時間総雨量198mm）の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外にも浸水することがあります。

【出典】 基礎の地図 新潟市国土基本図（平成20年、平成25年、平成26年）
 通船川・栗ノ木川下流（新栗ノ木川）浸水想定区域（新潟県、平成17年8月25日）

